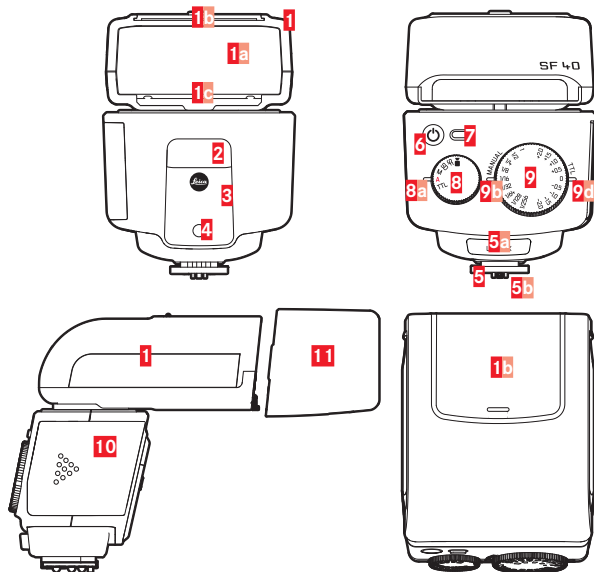




Leica SF 40

クイックスタートガイド



1 フラッシュヘッド

バウンス角度: 上方向90°、右方向/左方向180°

照射角: 24mm*, 50mm*, 80mm*, 105mm*

照射角切替: オート (A, TTL)、またはマニュアル (SD, SF, M) マニュアル切替は、電源オンの状態で電源ボタン6を3秒以上押す

照射角ステータス: パイロットランプ7の色で表示

緑	オート
青	24mm*
ピンク	50mm*
水色	80mm*
黄	105mm*

a 発光部

b キャッチライトパネル

バウンス撮影時、このパネルを引き出して使用すると被写体人物の目にキャッチライトを入れることができます。

c ワイドパネル

このパネルを引き出して発光部 **1a** に被せると、焦点距離16mm*までのレンズに対応します。

2 ビデオライト

(モードダイヤル8参照)

3 ワイヤレスセンサー

(モードダイヤル8参照)

4 AF補助光ランプ

カメラによる自動制御

5 取り付け足

取り付け方: カメラのアクセサリシューに差し込み、ロックピン **5b** がカチッと音がするまで奥に押し込みます。取り外し方法: ロック解除ボタン **5a** を押しながらカメラのアクセサリシューから引き抜きます。

a ロック解除ボタン

b ロックピン

6 電源ボタン

電源オン: 電源ボタンを押します。

電源オフ: 電源ボタンを1秒以上押します。

7 パイロットランプ/テスト発光ボタン

表示: 電源オンで赤色に点灯します。発光できる状態になると緑色に点灯します。スタンバイモードになると緑色で点滅します。

8 モードダイヤル

■4: ビデオライト。光量ダイヤル9で光量を調節します。使用中は光量調節指標LED **9b** が点灯し、パイロットランプ7が消灯します。

A: カメラが発光量を調節します。カメラの露出モードが「P」、「S」、「A」、「M」のときに使用します。

TTL: 「A」と同じですが、光量ダイヤル9で発光量を調節します。使用中は調光補正值指標LED **9d** が点灯します。

M: 発光量を手動でセットします。光量ダイヤル9で発光量を調節します。カメラの露出モードが「A」または「M」のときに使用します。使用中は光量調節指標LED **9b** が点灯します。

SD/SF: 「M」と同じですが、ワイヤレスフラッシュ撮影時に使用します。

a モードダイヤル指標LED

9 光量ダイヤル

a 発光量目盛 (Mモード、■4モード時のみ)

b 光量調節指標LED

c 調光補正值目盛 (TTLモード時のみ)

d 調光補正值指標LED

10 電池フタ

開け方: フタを右にスライドさせると自動的に開きます。

閉じ方: フタを押しさえ込むように閉じ、左にスライドさせます。

使用できる電池: 単3形のアルカリ乾電池、リチウム電池、ニッカド充電電池、ニッケル水素充電電池のいずれか4本

11 ディフェューザー (着脱式)

フラッシュ光を和らげて撮影するときや、近距離で撮影するときに使います。

取り付け方: フラッシュヘッド **1** に被せます。

* 焦点距離はすべて35mm判 (36×24mm) 換算の数値です。